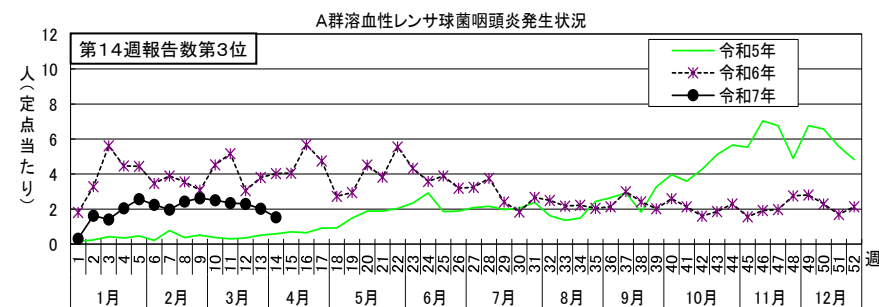
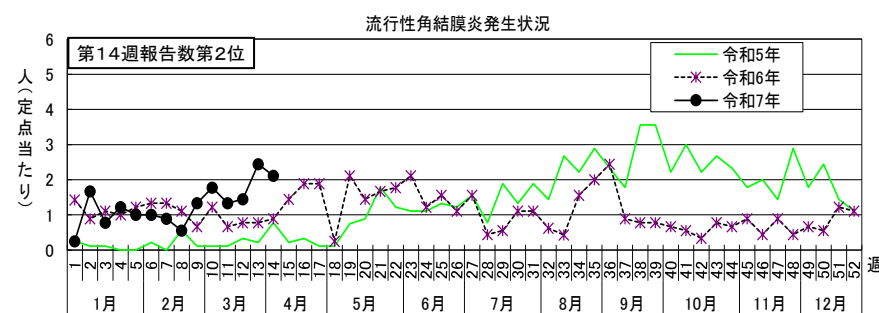
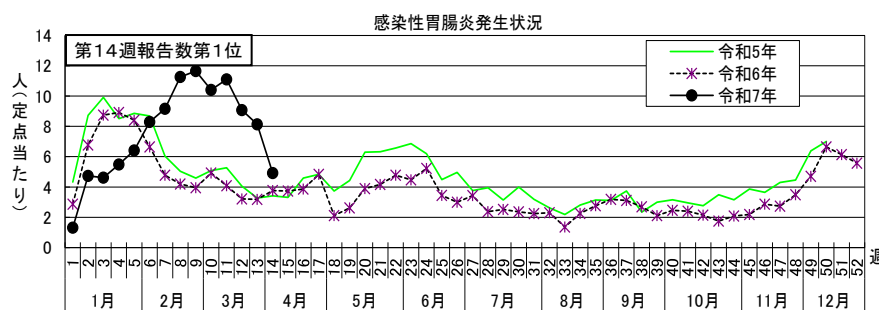


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和7年3月31日（月）～令和7年4月6日（日）〔令和7年第14週〕の感染症発生状況

第14週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）感染性胃腸炎 2）流行性角結膜炎 3）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.92人と前週（8.14人）から減少しましたが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.11人と前週（2.44人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.54人と前週（2.03人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。



知っていますか？～E型肝炎～

E型肝炎は、主にE型肝炎ウイルスに汚染された水や食物の摂取により感染するとされており、国内においても、生又は加熱不十分な肉等の喫食が原因と推定された事例があります。

E型肝炎の主な症状は、吐き気、腹痛等の消化器症状や発熱等です。通常は自然に改善しますが、まれに劇症化し死亡することもあります。特に、妊婦が発症した場合は劇症化しやすく、致死率が25％に達することもあるといわれています。

E型肝炎ウイルスは加熱で死滅するため、感染原因と考えられる豚レバーや鹿肉等は中心部までよく加熱してから食べることが重要です。また、流行国に渡航する際は、生水の摂取を避け、ミネラルウォーターや煮沸した水を飲みましょう。

E型肝炎について

【病原体】

E型肝炎ウイルス（遺伝子型1～4型）

【潜伏期間】

15～50日（平均6週間）

【主な症状】

悪心、食欲不振、腹痛、倦怠感、黄疸等
（無症状の場合も多い）

【主な推定感染原因】

生又は加熱不十分な肉等の喫食
（豚レバー、イノシシ肉、鹿肉等）

【予後】

比較的良好（致死率：1～4％）



予防のポイント

生肉を取り扱った後は十分に手を洗う。

生の肉類に触れた調理器具等は使用後洗浄・殺菌する。



豚や鹿等の肉や内臓の生食を避け、中心部まで十分に加熱する。

流行している国や地域に旅行する際は、生水や生ものの摂取を避ける。

